

ご取材のお願い

平成24年4月17日
釜石市漁業協同組合連合会
公益財団法人 ヤマト福祉財団

釜石魚市場経営基盤復興再生事業に伴う竣工式の開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第2次助成先の一つである釜石市漁業協同組合連合会は、衛生管理機能・設備の一部の竣工にあわせ、来る4月23日（月）午前11時30分より現地にて竣工式を行います。

岩手県東南部、釜石市の前面に広がる太平洋は、親潮と黒潮が交わる世界有数の漁場です。リアス式海岸特有の湾を活かした養殖漁業や小型漁船漁業が中心ですが、イカ釣船などの大型船に対応するために、釜石魚市場への水揚げ増強の施設整備を図っていた矢先、東日本大震災に見舞われ、施設が全壊、市場経営は甚大な被害を受けました。

昨年8月4日より新浜町地区・第2魚市場の応急復旧で市場運営を再開していますが、「より水揚げしやすい衛生的な市場へ」の機能回復に向けて整備が進められているところです。

ヤマト福祉財団では釜石魚市場の水揚げ機能確保に向けた対策として、氷供給施設（移動式砕氷車両1基）、衛生管理施設（殺菌冷海水製造装置2基整備のうち1基が今回竣工）の整備費用1億5000万円を助成いたしました。

移動式砕氷車両の導入により、水揚げに不可欠な船積氷や市場内氷を短時間で効率的に供給できるようになります。さらに他の地域にはない殺菌冷海水製造装置を導入することで、より衛生的かつ高品質に水産物の鮮度を保つことが可能となります。



（被災した釜石魚市場）



（移動式砕氷車両）



（砕氷氷を投入）

殺菌冷海水製造装置は、水揚げされた水産物の保管に活用します。一般の氷よりも魚体損傷率が低く、温度管理も徹底され、鮮度保持にも有効です。水揚げされた水産物を衛生管理することで、製品の付加価値を向上し、「釜石ブランド」の構築を目指しています。

岩手県の水産業は復興の途上にありますが、震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本竣工式を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

釜石市産業振興部水産農林課水産振興係 担当：小笠原 （0193-22-2111）
公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺 （03-3248-0691）

記

1. 日時

平成 24 年 4 月 23 日（月） 午前 11 時 30 分より

2. 場所

住所 釜石市新浜町一丁目

釜石魚市場第 2 魚市場構内・入札所付近（釜石市新浜町地内）

3. 主な出席者(予定) (敬称略)

(1) 釜石市

釜石市長 野田武則

(2) 釜石市議会

議長 海老原正人

(3) 岩手県

沿岸広域振興局長 斎藤淳夫

(4) 釜石市漁業協同組合連合会

代表理事会長 上村勝利

(5) 釜石市漁業協同組合連合会加盟組合

・唐丹町漁業協同組合 (代表理事組合長 上村勝利)

・釜石東部漁業協同組合 (代表理事組合長 小川原泉)

・釜石湾漁業協同組合 (代表理事組合長 細川道弥)

(6) 釜石魚市場買受人組合

組合長 近藤利明

(7) 釜石水産物商業協同組合

理事長 片桐文男

(8) 釜石流通団地水産加工業協同組合

代表理事組合長 津田保之

(9) 公益財団法人 ヤマト福祉財団

東日本大震災復興支援選考委員会

事務局長 山内信幸

4. 施設概要

移動式砕氷車両（1 基） : 砕氷処理能力 48t/h

殺菌冷海水製造装置（1 基） : 20 立米

（新浜町魚市場に設置予定の殺菌冷海水製造装置（30 立米・1 基）の竣工予定は 7 月末を予定）

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。累計で 142 億 3,608 万 1,360 円となったヤマトグループの「宅急便 1 個につき 10 円の寄付」をはじめ、広く一般からも募金を募り、単なる資金提供だけでなく、新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指しています。既に 24 件の事業に対して、105 億円以上の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。